

結成30周年式典および記念講演会

2021年11月12日(金)16:30

川崎市労働会館 1Fホール

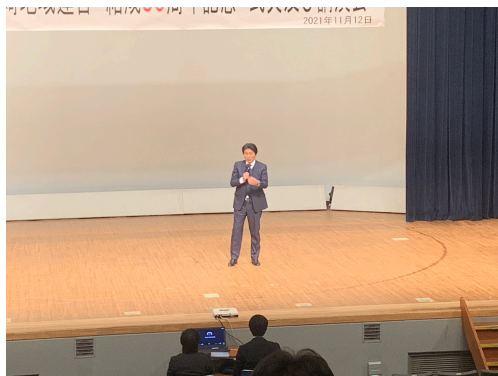
初めに主催者で川崎地域連合 渡部議長の挨拶から始まり来賓の福田市長、OB会長の小林様の挨拶がありました。

そのあとに10年の振り返りの映像を観ました。



そのあと記念講演会

「勝つためのリーダーシップとチームワーク」



講師 山本昌邦(やまもと まさくに)

1958年4月4日生まれ 静岡県沼津市出身。

元五輪日本代表監督。

現在は、NHKサッカー解説者として活躍。

サッカーは常に失敗の繰り返しです。失敗しても挑戦し続けること。満足してしまったらそこで終わりです。

失敗、リスクを恐れて何もしない人はトップに登りつめることはできません。

「リスクを負わないことがリスクなんだ！」

「あきらめず常にチャレンジしてほしい」

元・アテネ五輪サッカー日本代表監督がアツく語ります！スポーツ界の管理職にあたる監督やリーダーには、選手の強み弱みを把握して育てていく能力が求められる。また、リーダーの指示に従いサポートしていく立場（選手たち）にも「フォロワーシップ」といったリーダーを支える能力が発揮されてこそ勝ち続ける強い組織が生まれる。

・言われた以上のことをする→教えることではなく、気づかせることが大事。

・一番大事な才能は「持っている才能」ではなく、「努力し続ける」才能である。

・いい選手の特徴 1.目標が高い 2.意志の強さ 3.人の話が聞ける

・試合前のミーティングが大事→誰よりも選手自身がプレッシャーを感じているのに、よりプレッシャーをかけても仕方がない。よりリラックスさせる、心に火をつけることが大事。

・自分の意志でやろうとしたことは疲れない→人からやらされていないから。逆に楽しい。「やらされ感には限界がある」

・上司→部下。強さ、恐怖心ではなく、「優しさ」で引っ張って行ってほしい。夢を掴むのは自分自身。その人の誇り、プライドに火をつける。

組織全体のモチベーションを高め、結果を生み出す組織づくりの秘訣を熱く語ります。

アテネ五輪 男子サッカー日本代表監督として日の丸を背負い、

第一線で活躍されてきた山本さんのお話は実体験に基づくものでとても説得力があります。

「リーダーに求められる要素」

「チームメンバーへの声のかけ方」

「調整型のリーダーシップ」

「組織のモチベーションを上げるための着目点」

などビジネスの場面に落とし込んでお話ししますので、普段のお仕事、組合活動にも活かせる内容でした。

川崎運送労働組合

書記次長 大内祐介